

③県庁報告

平成 22 年度 事業報告書

特定非営利活動法人ネパール・ヨードを支える会

1 事業の成果

21 年度の調査研究で、妊娠中にヨード補給を受けた母親から生まれた幼児は、他より成長、発育が早く、充実していることが分かった。妊婦へのヨード補給の前に、妊婦のヨード欠乏状況を事前にスクリーニング〈選別〉することで、更に効果的なヨード補給が出来ることを目指して、甲状腺刺激ホルモン【TSH】の検査を 23 年度に導入しようとしている。そのために、ネパールで採血し、日本へ空輸して検査を行い、即座に検査結果をネパールの現場にフィードバックするシステムを、試験的に実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象範囲及び人数	支出額(千円)
ヨード欠乏地域に対するヨード補給事業	妊婦及び乳児を対象に、ネパールの病院で採血し、吸着濾紙で日本に空輸し、検査を行った。 ヨード欠乏の有無を判定し、現地にフィードバックし、欠乏者にヨードを補給した	2010 年 6 月～2011 年 2 月	ネパール・チヨウタラ病院及びベニー病院	8 人	検査；妊婦及び乳児計 71 名 ヨード欠乏者 5 名	914 千円
ヨード欠乏症の調査及び医学的・社会的研究事業	妊婦及び幼児のヨード欠乏状態を医学的調査をする	2010 年 7 月～12 月	兵庫県立がんセンター	3 人	妊婦 37 名 乳児 34 計 71 名	205 千円